

# 水稻技術情報 NO-13

令和5年7月28日  
J A 営農支援課

## あきたこまち出穂期『8月2日』頃

### 1. 水稻の生育状況(7月27日現在)

あきたこまちの生育様相は、平年比で草丈105%、茎数96%、葉色値103%であります。12葉目の葉身が長いこととで草丈が長めとなっております。葉耳間長から見た村内平均の出穂期予想は、1日程度早まり『8月2日』頃となる見込みです。なお、本年は減葉茎が目立ち幼穂の伸長等、圃場内でのバラつきが見られます。また、葉いもち病の発生が例年に比べ多くなっており、各自の圃場状態を確認のうえ、つぎを参考に今後の管理に努めてください。

水稻定点調査圃の生育状況(7月27日) ※平年値は最高値と最低値を除いた過去10年の平均

品種(平均)	草丈(cm)		茎数(本/m <sup>2</sup> )		葉数(葉)		SPAD	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
あきたこまち	85.0	80.9	393	410	12.6	12.5	40.6	39.4
(慣行)	85.8		372		12.6		41.6	
(側条へ-ス等)	84.3		410		12.6		39.8	
<b>前年比</b>	<b>96 %</b>		<b>96 %</b>		<b>-0.3 葉</b>		<b>96 %</b>	
平年比	105 %		96 %		+-0 葉		103 %	
たつこもち	78.7	78.5	418	393	12.4	12.7	43.1	43.4
きぬのはだ	82.2	73.4	503	455	13.1	13.2	38.3	38.1
ときめきもち	76.3	71.9	440	444	12.8	12.8	35.2	38.5
サキホコレ	81.9	81.8	445	437	12.3	12.9	37.5	35.8

### 2. 葉耳間長からみた出穂・刈取予想日(砂地圃場は3日程度早め)

品 種 名	葉耳間長 (cm)	出 穂 期 予 想		刈取予想日 [平年値積算気温]
		本 年	平 年	
たつこもち		7月29日	7月29日	9月11日
ちほみのり		7月29日	7月29日	9月11日
あきたこまち	-6~+11	8月2日	8月3日	9月20日
※ ゆめおぼこ	葉耳間長	8月6日	8月7日	9月28日
ときめきもち	-6~2	8月8日	8月8日	10月1日
きぬのはだ	-7~-2	8月9日	8月8日	10月1日
※ 萌えみのり		8月8日	8月8日	10月1日

※ 「ゆめおぼこ」「萌えみのり」は他品種の出穂期予想から推定

裏面あり

### 3. 今後の技術対応

#### 1) 倒伏対策【畦廻りスポット処理可能】

過剰生育等(葉色濃く、草丈長く、茎数多め)により倒伏が心配される圃場は、倒伏防止対策として、つぎの薬剤で対応してください。

- ビビフル粉剤DL 出穂5日前まで [散布量3~4kg/10a]
- ビビフルフロアブル 出穂2日前まで [散布量1,000倍 100ℓ/10a]

#### 2) 病害虫防除

##### ①葉いもち病 発生量「多い」

- ブラシン 2成分 [粉剤DL:3kg/10a]  
[フロアブル:1,000倍で60~150L/10a]  
[ゾル:8倍で0.8ℓ/10a(無人ヘリ)]
- ビームエイトゾル 1成分[1,000倍で60~150L/10a]、[8倍で0.8ℓ/10a(無人ヘリ)]

##### ②穂いもち病

- トライフロアブル 1成分[1,000倍で60~150L/10a]、[8倍で0.8ℓ/10a(無人ヘリ)]

##### ③斑点米カメムシ類

発生量は「多い」と予想されているため、乳熟期以降も加害が懸念されます。

1回目の防除から2週間後に追加防除を行い、万全を期してください。

※あきたこまちの散布時期目安(1回目) 出穂期から10日後頃 : 8月12日

(2回目) 1回目散布から2週間後 : 8月26日

##### ④ウンカ・ニカメイガ(ニカメイチュウ)

**ウンカ** : 近年もち品種(たつこもち・きぬのはだ等)に被害が散見されております。発生が確認された場合は速やかに**全面散布**で防除に努めてください。

- トレボン粉剤DL 1成分[散布量3~4kg/10a]

**ニカメイガ** : 8月上・中旬頃に幼虫が孵化し稲を食害します。**芯枯株率が5%を超えるか、成虫の発生が目立つ場合は**つぎの薬剤で防除に努めてください。

- トレボン粉剤DL 1成分[散布量3~4kg/10a]

##### ⑤紋枯病

今後、気温の上昇により発生が懸念されますので、発生状況を確認し、**防除が必要な水準(発生株率が15%)を超える圃場**については、つぎの薬剤を散布し予防に努めてください。

- 穂揃期 モンカットファイン粉剤20DL 1成分 [散布量3~4kg/10a]

- 「紋枯病・稲こじ病同時防除」:[3日間湛水状態を保つ]

収穫45日前まで モンガリット1\*<sub>0</sub>粒剤・1成分 [散布量1kg/10a]

※混合剤(殺虫・殺菌剤) ◎散布量 3kg/10a

薬剤名	成分数	病害虫名
ブラシントレバリダ粉剤DL	4	いもち・紋枯・カメムシ・ウンカ・イナゴ

※「ばか苗病」の散見される圃場は、見つけしだい抜取りをよろしくお願ひします。

※ 農薬の使用に当たっては使用法を確認し、環境に配慮した施用量等を心がけてください。

「水稻技術情報」<https://www.ja-ogata.or.jp/farming2/>をホームページで閲覧の際は、これまで必要だったパスワード入力なしで閲覧可能になりました。

※水稻以外の技術情報は、これまで通りパスワードの入力が必要です。